

## 第 10 期 活動実績（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

### 《 会員/職員の状況 》

- ◆ 正会員 16 名
- ◆ 職員 29 名・非常勤職員 2 名・アルバイト職員 2 名・派遣職員 1 名

### 《 会議開催の状況 》

- ◆ 理事会 平成 26 年 11 月 14 日、平成 27 年 3 月 6 日、平成 27 年 9 月 11 日
- ◆ 通常総会 平成 26 年 11 月 21 日

### 《 事業報告 》

#### 【厚生労働省の補助団体に採択】

- ◆ 厚生労働省「がん臨床試験基盤整備事業」に採択され、人材育成などの基盤整備を行った

#### 【がん研究者主導臨床研究事業】

- ◆ 国立がん研究センターと委託契約を締結し、がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務を実施した
- ◆ 臨床研究を行う研究班(受託研究一覧)と委託契約を締結し、データマネジメント業務を実施した
- ◆ 先進医療制度を用いる臨床研究を行う研究班(受託研究一覧)と委託契約を締結し、調整医療機関事務局業務を実施した

#### (受託研究一覧)

##### 【データマネジメント業務】

##### ●平成 26 年度 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業

研究代表者	研究課題名
岡本 勇	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法の確立に関する研究
渡辺俊一	非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する標準的機能温存手術の確立に関する研究
森田信司	患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
山田康秀	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究
土岐祐一郎	切除可能進行胃癌に対する網膜切除の意義に関する研究
大橋 学	ステージ III 胃癌に対する術前診断の妥当性研究:術前補助化学療法への転換を目指して
増田慎三	乳がん術後の適切なフォローアップに関する研究
枝園忠彦	StageIV 乳癌に対する標準治療の確立に関する研究
丸山 大	高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法の確立と治療効果および有害事象を予測するバイオマーカーの探索的研究
石川光也	早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究
吉川裕之	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験
志田 大	直腸癌側方骨盤リンパ節転移の術前診断の妥当性に関する観察研究

清水泰博	大腸がん肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究
濱口哲弥	超高齢者社会における治癒困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究
岩本幸英	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
西村恭昌	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
古瀬純司	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
奥坂拓志	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
小西 大	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
武藤 学	これまで治療法がなかった食道癌術後の難治性吻合部狭窄に対する新しい治療法の開発
田原 信	進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究
森実千種	消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究
渡辺俊一	高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究
塚崎邦弘	臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによる ATL 標準治療法の開発
成田善孝	予後不良の Grade II および Grade III 神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究
本間明宏	進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究
中島貴子	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究

●平成 27 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費革新的がん医療実用化研究事業

研究代表者	研究課題名
岡本 勇	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法の確立に関する研究
渡辺俊一	非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する標準的機能温存手術の確立に関する研究
森田信司	患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
岩佐 悟	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究
土岐祐一郎	切除可能進行胃癌に対する網膜切除の意義に関する研究
大橋 学	ステージ III 胃癌に対する術前診断の妥当性研究:術前補助化学療法への転換を目指して
増田慎三	乳がん術後の適切なフォローアップに関する研究
枝園忠彦	StageIV 乳癌に対する標準治療の確立に関する研究
丸山 大	高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法の確立と治療効果および有害事象を予測するバイオマーカーの探索的研究
石川光也	早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究
吉川裕之	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験
志田 大	直腸癌側方骨盤リンパ節転移の術前診断の妥当性に関する観察研究
清水泰博	大腸がん肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究
濱口哲弥	超高齢者社会における治癒困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究
岩本幸英	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究

西村恭昌	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
古瀬純司	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
奥坂拓志	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
小西 大	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
武藤 学	これまで治療法がなかった食道癌術後の難治性吻合部狭窄に対する新しい治療法の開発
田原 信	進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究
森実千種	消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究
浅村尚生	高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究
塚崎邦弘	臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによる ATL 標準治療法の開発
成田善孝	予後不良の Grade II および Grade III 神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究
本間明宏	進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究
中島貴子	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究
岩佐 悟	側方骨盤リンパ節転移陽性の難治性下部直腸癌の予後改善を目指した治療法に関する研究
岡本浩明	高齢者の小細胞肺癌に対する標準治療の確立に関する研究
加藤 健	局所進行食道癌に対して、治療の有効性向上を目指した新しい術前治療を確立する研究
北川雄光	臨床病期 I/II/III 食道癌(T4 を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第 III 相試験

### 【調整医療機関事務局業務】

#### ●平成 26 年度 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業

研究代表者	研究課題名
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
塚崎邦弘	臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによる ATL 標準治療法の開発

#### ●平成 27 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費革新的がん医療実用化研究事業

研究代表者	研究課題名
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
塚崎邦弘	臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによる ATL 標準治療法の開発